

人と人を笑顔で紡ぐアーティスト



はんこ作家
伊藤 真希さん (湖北町八日市)

「手紙を出す時やプレゼントを渡してもらった時に使ってもらえれば。贈る人ももらった人もウキウキできるものを作りたい」。そんな思いを込めて伊藤さんが作るの「消しゴムはんこ」。独特のタッチで描かれる絵柄はどれも楽しげで温かみがあふれています。作品の多くは「こんにちは」、「ありがとう」といった言葉が添えられたものや、中には空白の吹き出しにメッセージが書き込めるものも。はんこはコミュニケーションツールだという伊藤さんなりのこだわりが窺えます。



▲伊藤さんの作品

子どもの頃から切り絵や粘土などに夢中になり、モノ作りの楽しさに魅了されていった伊藤さん。デザイン事務所に就職して以降は、グラフィックデザイナーやイラストの分野で活躍し、新聞社のコラムや大手の雑誌の挿絵を手掛けるなど、多彩な才能を開花させます。

消しゴムはんこを始めたのは、幼稚園に通う子どもが先生や通園バスの運転手さんのために描いたイラストをはんこにしたのがきっかけ。上手に彫るコツを調べながら、子どもや自分が描いた作品を彫り続けるうちにみるみる上達します。文具メーカーのインストラクターとして著書も出すようになり、名づけての存在に。東京での見本市の講師や手作り市への来店などを通じて、アーティストとして人気を得ます。「細かい作業が好きなのは、切り絵が得意だった母方の祖父ゆずり。祖父からもらったデザインカッターはいまだに使っています。これがすべての始まり」。自他ともに認める職人気質で作品の仕上がりが極めて緻密ですが、丁寧な仕事と温かく味わいがあるその作風には、伊藤さんの優しい人柄がにじみ出ます。ワークショップやイベントでは、リクエストに応じてお客さんの目の前ではんこを彫ることも。「でき上がったはんこを手渡すと、驚きと喜びがすぐに伝わってくるのが嬉しい」と、顔をほころばせます。「はんこを彫っている時間が何より幸せ」と楽しそうに語る伊藤さんが気持ちを入れて彫り上げた消しゴムはんこ。その向こうには、いつもたくさんの笑顔が待っています。



よご認定こども園

遊び込む子をめざして

よご認定こども園では毎朝、おまわりさんと園長・副園長が園門に立ち、交通安全指導とあいさつ運動を行っています。「おはようございます」と挨拶を交わし登園します。園の周りは山々に囲まれ、大自然の美しい景色は大きな絵画のようです。

園の主な活動として、広い園庭や遊戯室で運動遊び、リトミック遊びをしています。また、何年も前から老人クラブの皆さんにわら草履を作っていたが、幼児組の子もたちはそれを履いて生活しています。履き心地がよく、足の裏から刺激を受けるので、土踏まずの形成や全身の成長も促されています。

園全体で『遊び込む子をめざして』をテーマに掲げ、学びの力となる探求心や集中力、非認知能力を養うことで、将来学ぶことを楽しいと感じる心を育てたいと願っています。

乳児組は、先生が愛情一杯に関わる中で、手作り玩具や小麦粉粘土、寒天粘土等で遊んでいます。

幼児組では、大好きな先生と一緒に、泥、砂、色水を使った遊びや、木片を利用した木工遊び、紙飛行機飛ばし等、素材を使う場を用意することで、遊び込む姿に繋がっています。

また、子育て憲章の『自然や人々に感謝の心で触れ合う子どもを育てます』を実践し、畑ボランティアの皆さんと触れ合いながら、苺・玉葱・じゃが芋・さつま芋等の栽培収穫活動をしています。

子どもたちが未来に向け、しなやかな心を持ち、たくましく育ってほしいと願っています。



▲工夫を凝らした手づくりバッグをもって散歩

長浜子どものちかい～わたしたちはちかいます～

- 元気にあいさつをします
- 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします
- 「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言います
- 困っている人がいたら言葉をかけます
- 人の話をしっかり聞きます

長浜子育て憲章～おとなが実践します～

- 子どもに誠実に生きる姿を見せます
- 見守るまなざし、叱る勇気を大事にします
- ルールとマナーを教え、奉仕の心を育みます
- 自然や人々に感謝の心でふれあう子どもを育てます
- 長浜に誇りをもち、地域に貢献する子どもを育てます



◀さつま芋掘りの様子(動画)

人口と世帯数

令和2年11月1日現在

人口	116,976人(-140)
男	57,312人(-86)
女	59,664人(-54)
世帯数	46,479世帯(-46)

()は前月との比較

長浜市の情報をスマホでチェック

長浜市 ホームページ	Facebook 長浜市ほっとにゅ～す	Facebook 長浜市教育委員会	Instagram #長浜ちよびつく	YouTube はま～るtb.	広報紙をスマホで マチイロ	イベント情報を配信 LINE

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けしているほか、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパー、診療所などにも置いてあります。また、市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。声の広報も作成していますので、ご希望の場合は市民広報課まで。